

令和6年1月  
秩父市教育委員会 定例会 議事録

開 会 : 令和6年1月23日(火) 午後2時00分  
閉 会 : 令和6年1月23日(火) 午後2時56分  
会 議 場 : 本庁舎3階庁議室

出席委員 : 1番委員 山中 直子  
2番委員 大島 隆芳  
3番委員 浅海 純一  
4番委員 萩原 重範

出席者 : 教育長 前野 浩二  
事務局長 笠原 義浩  
事務局次長兼学校指導監 板倉 邦弘  
事務局次長兼文化財保護課長 堀 宏行  
教育総務課長 杉田 泰三  
学校教育課長 磯田 欣央  
保健給食課長 井上 夏美  
教育研究所長 飛川 成正  
市民スポーツ課長 原嶋 祐樹

書 記 : 教育総務課主幹 大池 伸吾  
教育総務課主幹 中里 芳隆

## 1 開会宣言

教 育 長 : 令和6年1月教育委員会定例会の開会を宣言する。

## 2 署名委員の指名

教 育 長 : 本会議の議事録署名委員として、2番委員及び4番委員を指名する。

## 3 会議の公開

教 育 長 : 本会議は、公開とすることでよいか。  
(「異議なし」の声あり)  
異議なしと認め、公開とする。

## 4 前回会議の議事録の承認

令和5年12月27日に開会された12月秩父市教育委員会定例会議事録の朗読を事務局が行い、出席者の異議なく承認された。

## 5 報告事項

### (1) 教育長及び各委員からの報告事項

教 育 長 : 正月に能登半島地震が発生し、230名を超える方々が尊い命を失った。心よりお悔み申し上げます。そして、余儀なく避難所生活を送られている多くの方々にお見舞いを申し上げますとともに、1日も早く安心した生活に戻るよう祈っている。

そのような状況の中、先日行われた校長会議では、能登半島地震や自然災害についての危機意識と児童・生徒への防災教育、そして、危機管理マニュアルの見直しと災害が発生した場合の対応などについて、改めて考える機会を持つよう指導した。また、学校の体育館や校舎が避難所になった場合の対応や児童・生徒への学習保障など、秩父市内で起こりうる災害発生を想定した緊急時に備えての危機意識の向上を図るようお願いした。

1点、報告する。

令和5年度から中学校部活動の休日の地域連携・地域移行・地域クラブ化といった取組の検討がスタートしたが、本市においては、先日諮問機関である「秩父市立中学校部活動地域移行推進協議会」を開催することができた。会議を重ねるとともに答申をいただき、委員の皆様のご協力をいただく中で、本市の方向性が定まっていくのではないかと考えている。

そこで、11月から12月に行われた全国レベルで活躍した本市の小・中学生が、過日市長を表敬訪問し、大会結果を報告した。

まず、地域のクラブで活動しているペタンクの日本ペタンク選手権大会ジュニアの部が沖縄で行われ、秩父市から5名の小・中学生と1名の高校生が参加し、第2位という素晴らしい結果を残し、来年は優勝を目指しますという高い目標を述べていた。

また、大阪で行われた都道府県対抗中学バレーボール大会に、秩父第二中学校3年生女子の平沼さんが、休日に行われた練習会で技能の向上を図り、埼玉県代表の12名に選ばれ、大会でも貢献し、埼玉県は第3位入賞、平沼さんは最優秀選手賞を受賞し、「進学してもバレーボールを頑張ります」と希望を語っていた。

今後も地域クラブや休日の合同部活動などを通して、児童・生徒が多様な活動に参加できるよう関係団体や学校等が連携し、環境整備を行っていきけるよう支援したいと考えている。

- 1 番 委 員 : 新年を迎えた元旦の夕方、石川県で大変大きな地震があった。被災された方々には心からお見舞い申し上げます。また、被災された多くの方々が安心安全な場所で過ごせることを願っている。私も自宅で家事をしている時に家族中の携帯電話から緊急地震速報が鳴り、大変驚いた。それと同時に、これから何が起きるのかと不安が先行して、一瞬体が動けなくなった。幸い秩父地域は地震の揺れも小さかったが、このように身に危険が迫っているかもしれないというときには、体が思うように動かないものだなと実感した。日本は地震大国とも言われているので、いっどこで地震に見舞われるかわからない。日頃の備えと訓練を心がけることの大切さを感じ、改めて防災の大切さを感じた年明けとなった。

1点、報告する。

この1か月の子どもたちの学校や家庭での様子を保護者から聞いているので、報告する。年末年始、子どもたちは、おじいちゃん・おばあちゃんの家泊まりに行ったり、自宅で家族や親戚と過ごすなど、普段の生活とは違う時間を過ごし、楽しめていたようである。書き初めや縄跳びなど、冬休みの課題を頑張っている子どもも多かったようだ。

また、元旦から地震や飛行機事故のニュースが入り、不安を感じている保護者もいた。新学期に入り、体調を崩す子どもたちもいたとのことである。寒暖差が激しいと感じる今年の冬なので、体調管理には十分気をつけて、短い3学期であるが、学年末としても大事なときなので、元気に充実した毎日を送ってほしいと思っている。

- 2 番 委 員 : 能登半島地震、報道を見るたびに心が痛む思いである。能登町、珠洲市の小中学校の始業式が3週間遅れで行われ、給食も始まったというニュースに安堵したところであるが、輪島市は未だに見通しが立た

ないということで、寒く雪深い地域での降雪の映像を見ると、手助けができない歯がゆさを感じている。

また、自分も知らなかったことであるが、もし地震が発生した時には、インバウンド対策として、パスポートを使って日本に来た外国人を優先的に避難させる必要があるとのことである。外国の方にとって地面が揺れるということは、非常に恐ろしいことで、それこそ天罰が下ったような驚きを感じるらしい。

自分は飲食の商売をやっているので、英語表記のメニューを作るなど、どうしても売上げのことを考えてしまうのだが、地震大国日本において、外国人を安全に誘導するというのも、インバウンドとしてやらなければならないことと感じた次第である。

2点、報告する。

1点目、1月7日、花の木小学校で恒例のタイムカプセル開封式が行われ、参加してきた。

これは、6年生が二十歳の自分に向けて手紙を書いてそれを学校に預けておき、二十歳のつどいの日に式典での服装のまま卒業生が体育館に集まってそれを開封し、当時の校長やPTA等もいる中で、代表者に手紙を読んでもらうという、花小独自の特別な事業である。今年二十歳になったのは2クラスであったが、欠席は4人だけという素晴らしい出席率で、皆さんと一緒に楽しい時間を過ごさせていただいた。

2点目も、花の木小学校の話である。

おそらく、2年生の宿題で、自分の名前の意味を親に聞いて調べてみようという宿題があるそうである。どんな愛しい思いが自分の名前に込められているのかを知ってもらおうという趣旨で、非常に良いことだと思うが、最近では里子であるとか、今いないお父さんの名前から1字をもらったとか、そういうことがあると少しやりづらいという話が保護者から出たようである。

本当に最近ならではの話題ということかもしれないが、先生方も色々なことに配慮して宿題を作ったり、授業を進めたりする必要があり、改めて大変であると感じた。

3 番 委 員 : 2点、報告する。

1点目、各学校のホームページを見させていただいた。

それぞれのホームページには、校長のあいさつが掲載され、学校だよりをほとんど毎月出していて、学校の様子がよくわかり、本当に感心をさせられた。

また、トップページには、どこの学校でも最新・重要なお知らせを掲載しているが、その中に複数の小学校で「定時退勤推奨ウィーク」というタイトルが載せられていた。「定時退勤なので、この週は帰りましょう。」という呼びかけであり、県や市からの要請で各学校ともやっ

ることと思うが、できるだけ先生方の負担軽減を色々な形で保護者の皆様にもわかっていただくような取組を意識して行っていただきたい。

ただし、定時退勤しても、家庭に仕事を持ち帰ってしまうのでは本末転倒なので、先生方が子どもたちと触れ合う時間を極力多くし大切にする、そういった実質的な負担軽減がなされるように、進めていただければありがたいと思う。

2点目、前回12月定例会で教育研究所長から報告のあった、令和5年度オンライン英会話レッスンの実施報告についてである。

今年度で3年目の取組ということで、児童生徒、保護者からも多くの関心が寄せられている事業であると伺った。アンケートの内容を見ると、受講した子どもたちが積極的に学んでいる様子が伝わってきた。

また、秩父市内の小中学校で活動をしているALTの先生方も、学校の授業以外でこのような活躍の場があるということは、モチベーションの維持につながるのではないかと感じる。いずれにしろ、市として小中学校の英語教育を重点的に実施することを掲げているので、ぜひこのALTの活用を進めていただきたいと思う。

それから、英検受験のための夜勉を実施しているということで、英語教育の充実のため、大胆な発想で今後とも進めていただきたいと思っている。

4 番 委 員 : 3学期は、年度のまとめと新年度に向けての準備が重なる大変忙しい時期であるが、先生方には健康に留意されご活躍いただきたい。

2点、報告する。

1点目、能登半島の地震、激甚災害については、大変痛ましいことと思う。また、先ほど教育長から、校長会で防災教育や緊急時の対応等について指示をされた、という報告もあった。

防災教育にしても、危機管理対応にしても、事前の準備というものは、かなり丁寧にできているものである。同じように事後の対応についても、実際に事態が発生した場合に想定される状況を例えば1段階、2段階、3段階と場合分けするなど、もしこういうことが起こった場合には、ここまで準備し、ここまでのことをしようという事後計画を怠りなく、しっかりと定めておいていただければと思う。

現実にあってはならないことと思うが、今は色々な想定外のことが起こりうる時代、社会状況になってきているので、ぜひその点についてはお願いしたいと思う。

2点目、今年になって教育関連記事でマスコミ等に大きく報じられている奈良教育大学附属小学校での問題である。

この問題は、1つが学習指導要領軽視の法令違反教育があったこと、もう1つが校長の組織統治、ガバナンスが形骸化してしまって円滑な学校運営ができていなかったこと、この2点が問題となっている。

改めて本市教育委員会としても、各学校が学習指導要領に基づいて教科指導やその他の教科活動が正しく実施されているか、また職員会議の位置付けについても、学校教育法施行規則に定められているとおり、校長主導の元で円滑な学校運営がなされているか、必要に応じて聞き取りや点検等をお願いしたいと思う。こういう問題があったとき、市民の皆様から秩父市の学校は大丈夫なのか、という問い合わせが来る前に、教育委員会として現状どうなっているかの調査・聞き取りを実施した、と言えることが大事だと思う。ぜひ、しっかりと必要に応じた対応を取っていただきたい。

この問題の背景として、奈良教育大附属小学校では、国立大の附属小という特殊なところがあり、十分な人事交流が行われていなかったことが挙げられる。本市においては、小学校が13校、中学校が8校という中で人事交流もなされていると思うが、各地域の学校に異動の偏りはないか、1校勤務が長期に及んでいる職員はいないか、あるいは取り残されて放置されている人事案件はないか、最終的には評価に耐え得ることのできる公正な人事が一定のルールに基づいて行われているか、様々な視点からチェック・点検することが必要だと思う。

多くの教職員の希望と納得の人事を実現すること、あるいは児童生徒が減少している時の人事については、大変難しいものがある。また、人事異動は年度単位で行うが、数年先を読みながら、数年経過で実現できるような視点をもって臨むことも必要と感じる。

いずれにしても、組織が活性化し、健全な職場環境を作るために、人事の刷新・交流は必要不可欠なものだと思う。ちょうど今そういう時期に来ているところで、改めて今回の奈良教育大附属小学校の問題を念頭に置きながら、しっかりとした人事をしていただき、4月にまた各学校が元気で新たな年度を迎えることができるように、御尽力いただきたい。

## (2) 事務局からの報告事項

事務局 長： 1点、報告する。

令和5年度定期監査ヒアリングについてである。

秩父市では、地方自治法の規定に基づき、各事業が法令に準拠して適正に執行されているか、公正かつ効率的に行われているか等について、例年2名の監査委員により、定期監査を実施している。この令和5年度定期監査について、教育委員会事務局に対するヒアリングが1月11日に行われた。

ヒアリングにおいては、予め提出した資料に基づき、各課所ごとに監査委員からの質問を受けた。主な質問内容としては、予算の執行状況について、事務事業や工事の契約状況や進捗状況について、各事業の今後

の見込みや方向性について、などの質問があり、各課所長から丁寧に説明をさせていただいた。

ヒアリングの結果、細かい指摘事項は何点かあったが、不適正な事案や問題となる重大な指摘事項等はなく、無事終了したので報告する。

学校指導監 : 3点、報告する。

1点目、3学期開始についてである。

1月9日に市内小中学校、幼稚園において3学期がスタートした。各学校、園ともに冬季休業中、大きな事故や問題等もなく3学期を迎えることができた。小・中学校では、感染症対策・健康維持のため式をリモートで行った学校が3校あった。

2点目、文部科学大臣優秀教職員表彰式についてである。

1月16日に東京大学安田講堂において開催され、秩父市からは吉田小学校の保泉拓都教諭が優秀教職員として表彰された。

3点目、市内小・中学校の卒業式と入学式についてである。

今年度の卒業式と令和6年度の入学式については、来賓をお招きする形で実施することとなった。教育委員の皆様においても、2月中に追ってご案内するので、ご臨席いただくようお願いする。卒業式は、中学校が3月15日、小学校が3月22日、入学式は、中学校が4月8日、小学校が4月9日である。

文化財保護課長 : 1点、報告する。

文化財防火演習についてである。

昭和24年1月26日、現存する世界最古の木造建造物である国宝の法隆寺金堂が炎上し、壁画が焼損したことで、昭和30年より1月26日が文化財防火デーに定められた。全国的にこの日を中心として文化財を火災等の災害から守るための防火演習が行われており、秩父市では毎年、消防署・消防団の協力の元、1月26日に近い日曜日に文化財防火デーに伴う防災訓練を実施している。

本年度は、1月28日午前9時30分から、秩父市消防団第2方面隊の協力により、秩父市蒔田にある国指定の重要文化財「内田家住宅」を会場に放水訓練を実施する。なお、文化財の所有者も放水銃を操作して、この訓練に参加する予定である。

教育総務課長 : 1点、報告する。

秩父第二中学校の施設改修についてである。

昨年9月の定例会でも報告させていただいたが、昨年9月8日秩父第二中学校A棟2階ベランダの立ち上がり壁と手すりとの接続部分のモルタル片が落下するという事象が発生した。落下したモルタル片は、1kg弱のものであったが、幸い、生徒・教職員に被害はなかった。発生直後、全フロアのベランダを確認し、ひび割れが目立つ部分には補修材を埋め込み、応急処置を行った。

その後、有資格者や業者を交えて改修方法を検討したが、建築後50年を経過した建物であることから、本格的に改修を行うとなると、数百万円単位の費用がかかることが判明した。秩父市個別施設計画における秩父第二中学校の位置付けでは、5～6年後に大規模改造工事を検討する施設となっているため、今回は、多額の費用をかけずモルタル片の剥離・落下の可能性がある箇所を、ナイロン製のネットで覆い、ワイヤーで固定することで更なる落下防止対策を行うこととした。併せて、ひび割れが目立つ箇所にはコーキング材を注入し危険箇所の補強を行う予定である。

なお、この工事については、今年度中に完了見込みである。

学校教育課長 : 2点、報告する。

1点目、12月14日に締め切った、令和6年度秩父市学童保育室の募集状況である。

令和6年度当初の学童保育室の定員740名に対して697名の応募となっており、定員内に収まっている状況であるが、学童ごとに見ると、花の木第一学童保育室、西第一学童保育室、宮地学童保育室、ぶこう学童保育室の4学童保育室で定員を上回っている。新1年生は安全上優先的に入室とし、その他を調整をして、令和6年1月下旬を目途に入室許可決定通知書を保護者に送付する予定である。

なお、民間の学童保育施設の受入状況を確認し、連携を取りながら、民間の学童保育室もご案内するなど、待機児童を発生させないように、できる限り調整を図っていく。

2点目、令和6年度の小学校入学児童保護者への入学準備品、ランドセルの購入補助金の申請状況についてである。

1月22日現在で、382人中288人からの申請があり、約75%といった状況である。昨年の同時期が約66%のため、昨年より若干申請が増加しているが、まだまだ周知が必要な状況である。

補助金の申請は3月8日までとなっており、申請のし忘れを防止するため、チラシを作成して入学時健診や1日入学の際に各学校から配布するなど、対策を講じている。

本事業は、子育て支援策として市長のマニフェストに掲げている事業であり、対象となる多くの保護者にご活用いただくよう、引き続き、周知徹底を図っていく。

保健給食課長 : 2点、報告する。

1点目、秩父市では、今年度から有機栽培の実証実験を行っており、収穫したものを可能な限り学校給食の食材として使用している。

今年度は、7月に玉ねぎを、12月から1月にかけて米を提供していただいた。今後も、関係各課と連携しながら、より安心安全な給食提供をしていきたい。



2点目、1月中における児童生徒及び教職員の感染症感染状況についてである。

1月22日現在、新型コロナウイルス感染症の感染者については、小学生33人、中学生14人、教職員2人と、前月比で感染者が増加している。幸いなことに、学級閉鎖等には至っていないが、新たな変異ウイルスが増加傾向にあるとの報道もあり、楽観視できない状況である。

また、インフルエンザについては、小学生は感染者77人、学級閉鎖2学級、学年閉鎖のべ3学年、中学生は感染者23人、教職員は感染者1人となっており、先月よりも減少はしているが、ここ1週間の感染者は増加傾向にある。これから本来のインフルエンザ流行期となるので、新型コロナウイルス感染症と同様、注視していく必要があると思っている。

教育研究所長 : 3点、報告する。

1点目、令和5年度地域教育力活用モデル事業「英検ナイトスクール夜勉」の実施報告である。

今年度2年目を迎えた本事業については、10月12日・24日、11月7日・21日、12月12日・19日の6回講義を実施した。受講者は、申込状況としては、5級34名、4級21名の合計55名であり、6回で延べ279名が受講した。その後、本事業のアンケートが集約できたので、受講者の感想を4点紹介する。

・「小学校で習うところの細かくしたところを学ぶことができ、勉強になった。単語の並べ方がなんとなくわかるようになった。小学校の英語の勉強が頭に入りやすくなった。」

・「5級の英語は少しむずかしかったけれど、頑張って勉強できたと思う。いろいろな英語を勉強できたと思った。」

・「学校の英語よりもいろいろなくわしいところなど、学校よりも多く単語や文章の書き方をよくできたのでとても勉強になった。」

・「夜勉をとおして、中2への予習や4級を受けて合格するための近道になったと思います。また、サポーターの方たちや先生のご指導でとても力がついたと感じています。」

なお、1月13日に歴史文化伝承館を会場にした、受講生対象の英検準会場による英語検定では、4級受験者12名、5級受験者24名となっており、2月初めにインターネットにより可否の発表が予定されている。今後も目標を持ち、前向きに取り組むことができるような事業の工夫を図っていく。

2点目、1月18日に第1回秩父市立中学校部活動地域移行推進協議会が開催された。委員全員で情報を共有するとともに「部活動地域移行に係るアンケート(案)」や「令和5・6年度事業計画(案)」について協議した。協議の時間には多くの意見等をいただき、今後の取組等の

参考になった。次回は、3月に開催を予定している。

3点目、先日行われた校長会議において、不登校児童生徒に対する学習保障の1つの方法として学習用端末の持ち帰りやICTの活用による学習支援について、改めて周知とお願いをした。また、各学校の学習保障に対する対策、対応について具体的にどのような取組を行っているか調査し、今後の指導、対応等の推進を図っていく。

### (3) 補助執行に関わる報告事項

教 育 長 : 補助執行に関わる報告事項は、今回、特にない。

#### 【質疑・応答】

4 番 委 員 : 保泉拓都教諭の表彰について報告があったが、どのような点が評価されたのか伺いたい。

学 校 指 導 監 : 保泉拓都教諭は、昨年度、埼玉県の優秀な教職員表彰である「はつらつ先生」を受賞した教諭である。算数科の指導を得意とし、現在は教務主任と指導主任を務め、学校全体の運営に大きな原動力となっている有望な人材である。そのような点が評価されての今回の受賞と理解している。

## 6 議案審議

教 育 長 : 議案第1号を議題とする。事務局に議案の説明を求める。

市民スポーツ課長 : 議案第1号「秩父市体育施設条例の一部を改正する条例の申出について」の提案理由及び説明を述べる。

教 育 長 : 質問または意見等がなければ、この議案を原案どおり可決することでいかがか。

(「異議なし」という声あり)

異議なしと認め、議案第1号は、原案どおり可決した。

教 育 長 : 議案第2号を議題とする。事務局に議案の説明を求める。

学校教育課長 : 議案第2号「幼稚園の廃止について」の提案理由及び説明を述べる。

教 育 長 : 質問または意見等がなければ、この議案を原案どおり可決することでいかがか。

(「異議なし」という声あり)

異議なしと認め、議案第2号は、原案どおり可決した。

教 育 長 : 議案第3号を議題とする。事務局に議案の説明を求める。

学校教育課長 : 議案第3号「秩父市立幼稚園条例を廃止する条例の申出について」の提案理由及び説明を述べる。

教 育 長 : 質問または意見等がなければ、この議案を原案どおり可決することでいかがか。

(「異議なし」という声あり)

異議なしと認め、議案第3号は、原案どおり可決した。

## 7 協議事項

### (1) 後援等について

教 育 長 : 後援等について、説明を求める。

教育総務課長 : 別紙のとおり、7件の協議をお願いする。

このうち、4番については、昨年の6月定例会及び8月定例会において不承認とした事業と同様の事業である。今回も開催場所が全て県外であるため、秩父地域の子どもたちにとって移動負担が大きく、恩恵も薄い事業となっている。したがって、事務局としては、4番の後援については不適當で、それ以外の6件については承認として問題ないと考えている。

教 育 長 : 質問がないようなので、ここで委員の皆様にお諮りするが、4番の後援については不承認、それ以外の後援については承認とすることでのいかがか。

(「異議なし」という声あり)

それでは、今月の後援等について、ただいまのとおり決したので、事務局には、今後の処理をお願いする。

### (2) 2月教育委員会定例会の日程について

教 育 長 : 定例会の日程について、説明を求める。

教育総務課長 : 2月教育委員会定例会について、2月27日午後2時から本庁舎3階庁議室において開催することを御提案させていただく。

(「異議なし」という声あり)

教 育 長 : それでは、2月教育委員会定例会については、2月27日午後2時から、本庁舎3階庁議室にて開催する。

## 8 その他

各 委 員 : 特になし。

事 務 局 : 3月21日午後3時から、歴史文化伝承館5階第1会議室において、総合教育会議が開催される。後日正式に通知をするが、予定に入れていただくようお願いする。

## 9 閉会

教 育 長 : 他に付議すべきことがなければ、本日の日程を全て終了する。  
以上をもって、秩父市教育委員会1月定例会を閉会する。